

第四十回帝國議會 衆議院 地種變更免租年期ニ關スル法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正七年二月二十日午前十時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

寺田 省歸君 東 武君 工藤 卓爾君

高戸 郁三君 高田 松平君 西 英太郎君

小池 仁郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省主稅局長 松本 重威君 大藏書記官勝 正憲君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地種變更免租年期ニ關スル法律案

○委員長(寺田省歸君) 是ヨリ開會致シマス、前回ノ續、御質問ヲ願ヒマス

○政府委員(松本重威君) 前回ニ東君カラ御尋ニナリマシタ、北海道國有未開地處分方法ノ二十四年ニ施行セラレタ法律ニ依テ、民有トナツテカラ後二十年間ノ免租ヲ與ヘラレテ居ッタノガ、四十一年ノ法律テ十年ニ短縮セラレタ、ソレハ一體非常ナ利益アルガ、之ヲ何トカ救済スル方法ガ無イカト云フ御質問ガアリマシタ場合ニ於テ、一應研究ノ上ニ御答致シマス申シテ、留保シテ置キマシタ、其後一應取調ベマシタケレドモ、四十一年ニ法律ヲ議會ニ提出シマシテ、ソレヲ審議シマシタ時ノ模様ヲ調査致シテ見マスト云フト、其以前ノ法律テアツテハ、民有トナツテカラ二十年間ノ免租期間ヲ與ヘテ置イタガ、其後ノ實況ニ付テ考慮シテ見ルノニ、二十年迄ナル必要ハ無イ、十年テ宜シト云フ、斯立云フコトテ其當時説明モシ、又議會モソレニ協贊ヲ與ヘテ居ルト云フ事以外ニ、十分ニ能ク分ラナイノデス、要スルニ其時ニソレヲ是ナリト認メテ、今日法律ニナツテ居リマスル有様デアリマスルカラ、ドウモ之ニ對スル救済ハ致シ方ナイコト、存ゼラレマス、唯ダ一應御答致シテ置キマス

○東武君 私ノ質問ハ、四十一年ノ改正ニ於テ二十年ヲ十箇年ニ打切ツタ、其打切ルト云フコトハ最早時勢ノ進歩ニ伴ツテ、二十年間ハハラヌデモ宜カラウト云フ意味ノ、詰リ立法ノ精神デアッタラウト思フ、所ガ四十一年前ニ此貸付若クハ賣拂ヲ受ケルト云フ時分ニ御調ベ下サレバ必ズ分ルコトデアリマスガ、北海道廳ノ此許可シテ可ノ指令書ニハ、明カニ其免租期間ヲ二十年間與ヘルト云フコトヲ印刷シテ許可シテアル、當時土地ヲ賃ヒタイト云フ出願ヲシタ時分ニ於テ、指令スル時ニハ、北海道廳ノ指令ニ明カニ二十年間ノ免租期間ヲ與ヘルト云フコトヲ書イテアル、サウスルト其人ハ最初カラシテ之ヲ受ケル時ニ於テ、既ニ二十年間ノ免租期間ヲ受ケルコト、信ジテ、サウシテ起業シ資本ヲ投ズルト云フコトノ豫定デアツタ、デアルカラソレヲ四十一年ノ法律テ今度十箇年ニ打切ルト云フコトデアレバ、四十一年以後ニ成功シタト云フモノモ、ソレヲ十年ニスルト云フコトデアレバ、此法律ハ既得權ヲ奪ヒ、既往ニ遡ルコト、ナリマスカラ、其原則ト衝突スルト思フ、此點ニ付テハ尙ホ御調ベヲ願ヒタイト思フテ居リマス、何レカノ機會ニ於

テ此救済ノ途ヲ講ズル必要ガアルト私共ハ信ジテ居リマスルガ、政府委員ニ於テ尙ホ私ノ質問ニ對シテ明カナル御解釋ノ御答辯ガアレバ大變結構デアル

○政府委員(松本重威君) 尙ホ能ク研究調査スルコトニ致シマス

○高田松平君 此間私ノ要求シマシタ二十四年ノ法律三十號ノ御調ベハ御分リニナリマセヌカ

○政府委員(松本重威君) 其後段々調査致シテ見マシタケレドモ、唯今大藏省ノ手許ニハ御坐イマセヌデ、強ヒテ之ヲ調査シヤウトシマスレバ、全國ノ各稅務署ニ照會シマシテ取集メマスレバ、ソレハ出來ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、大藏省ニ於テ其統計ヲ取テ居リマセヌカラ、遺憾ナガラ御答申上ケルコトガ出來マセヌ

○高田松平君 實ハ私ガ斯様ナ調査ヲ要求スルノハ、此三十四年ノ法律三十號ト云フモノガ、此間東君カラ質問ニナツタ地味成熟云々ト云フコトノ適用ノ爲シヤウニ依ツテハ、甚ダ不公平ナル事實ガアルヤウニ思フ、是ハ私ガ何故斯様ヲ點ニ付テ疑問ヲ持ツテ居ルカト云フニ、栃木縣ノ那須原野テ御坐イマス、彼ノ土地ハ御承知ノ通りニ廣漠タル原野ガ、方々ノ元老或ハ大官ノ所有ニナツテ居リマス、之ヲ吾々ガ見テハ立派ナ土地ト思フモノガ、今尙ホ此法律ニ依テ元ノ原野或ハ山林ノ處置ヲシテ居ル、然ルニ之ニ接續スル僅カノ民有ノ土地ガ、此法律ノ適用ヲ受ケズシテ、相鄰接シテ居ツテモ、一方ハ此法律ノ適用ニ依テ五十年或ハ二十年ノ年期ヲ得、然ルニ一方ハ僅カノ民有ノモノヲ開墾スレバ、二十年ノ取扱ヲ受ケテ、地味ノ成熟ノ程度ニ於テモ、事業ノ成功ノ程度ニ於テモ、全然同一ニ見ルベキモノヲ、一方ハ此法律ヲ以テ二十箇年或ハ五十箇年ノ餘下年期ヲ得、一方ハ僅カ十年テ地租ヲ納メルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ甚ダ遺憾ニ感ジテ居リマス、所テ此法律ハ稅務署長アタリテモ、大分知ラナイ人ガ澤山アルノデアリマス、ソレガ爲ニ私ハ此法律ガ遺憾ナク我内地ニ行ハレテ居ルヤ否ヤト云フトノ疑問ヲ持ツテ居リマス、ソレガ爲ニ實ハ調査ヲ要求シタヤウナ次第デアリマス、大藏省デ御分リニナラヌトスレバ致方ナイト致シマシテモ、此地味成熟云々ト云フコトハ、今度北海道ニ設ケントスル法律ニモアリマシテ、此適用如何ハ土地所有者ノ利害ニ餘程大ナル關係ヲ持ツコト、存ゼラレマスカラ、今直グ間ニ合ハヌデモ、會計検査院ノ現計書等ヲ見マスレバ分ルコト、思ヒマスガ、免三角大藏省ノ當局トシテ、此特別ノ長ク五十年七十年ノ年期ヲ付シテ居ル土地ノ段別ガ少シモ分ラヌト云フコトハ甚ダ遺憾ニ感ジマス、或ハ稅務署ノ監督ノ上カラ言ヒマシテモ遺憾ニ感ズル、併ナガラ御分リナラヌト云フナラバ致方ナイト思ヒマスガ、委員會ノ決議トシテ、本案ニ關係スルモノトシテ、此調査ヲ會計検査院ニ照會スルナリ、或ハ各稅務署ニ照會スルナリ致シテ、此法律ガ圓滿ニ完全ニ日本國中ニ行ハレテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ見ル爲ニ、調査ヲ要求シテ置キタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ、此間東君カラ御質問ナリマシタコトニ付テ、矢張法律三十號トノ關係デアリマスケレドモ、東君ガ御述ベニナツタノハ、地價設定ニナツタモノ云々ト云フコトテナカッタヤウデアリマシテ、詰リ北海道ニ於テノ土地ハ全然免稅地デアル、ソレ

此際地價ヲ設定スルノデアアルカシテ、此附則ノ適用ハ、此法律二十號ト同然ノ附則ヲ設クルコトハ不穩當デアルカノ如ク思ヒマシタケレドモ、併テガ法律第二十號カ存在シテ居ル以上ハ、所謂既往ニ遡ル意味ニ於テ、法律二十號ガ、國法トシテ存在シテ居ル以上ハ、北海道ノ今回ノ法律ニ於テモ矢張同様ニ本法ノ施行前ニ既ニ年明トナリタル土地ニシテ未タ地價ノ設定若ハ修正ナキモノニモ之ヲ適用ス一斯ウシマシタラ、此間東君ノ申サレマシタ愛ハ無クナリハシナイカト私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テドウモ法律二十號ト今度ノ法律トガ矛盾スルヤウナ形ニナリマシテ、甚ダ遺憾ト思ヒマスカラ、何トカ法律二十號ト同様ノ意味ヲ以テ二月カ三月ノ期間ノ爲ニ本法ノ適用ヲ受ケル受ケナイト云フコトノ差ノ出來ルハ、遺憾ト思ヒマスカラ、何トカ此法律二十號ト同ジ意味ヲ以テ、今回ノ法律ニ之ヲ設ケルコトハ出來マセヌカ、一寸伺ヒマス、ソレカラモウ一ツ先程申シマシタ此二十四年ノ法律二十號ノ各地目各縣別ノ調査ヲ當局者ニ要求スルト云フ事ニ付テハ、諸君ノ御同意ヲ得テ置キタイノデアリマス

○政府委員(松本重威君) 唯今高田君ノ御尋ノ御下年期若クハ地價據置年期ノ調ベテ御坐イマスガ、是ハ日本全國ニドレ程御下年期ヲ持ッテ居ルモノガアルカ、或ハ地價據置年期ニナッテ居ルモノガアルカト云フヤウナ調ベハ、ソレハアル筈デ御坐イマス併テガラソレニ對シテ繼年期ヲ與ヘ、詰リ三十四年法律第二十號ヲ適用シタ部分ノ調ベハ無イト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス、今ノ御話ニ依テ見マスト、此委員會トシテ或ハ要求シタイト云フヤウナ御希望デ御坐イマスガ、唯今大藏省ノ手許ニ無イ爲ニ、之ヲ取調ベルト云フコトニナリマスト、先程申シマシタ通り全國ノ稅務署ニ就テ之ヲ調査シナケレバナラヌト云フコトニナリマスト、大分日數モ嵩ミマス、速モ五日ヤ十日ヲ調ベガ出來ルト云フコトハ御請合ヲ致シ兼ネル次第デ御坐イマス、コ、ハ一ツ事情御諒察ノ上、此提出丈ハ御免ヲ蒙リタイト希望致シテ居ル次第デ御坐イマス——次ノ御尋ニ付テハ懇談的ニ御話申シタイト思ヒマスカラ、暫時速記ヲ御止メテ願ヒマス

○委員長(寺田歸省君) ソレデハ暫時速記ヲ中止シテ、打解ケテ熟議ヲシタイト思ヒマス

(速記中止)

○委員長(寺田歸省君) ソレデハ開會致シマス

○東武君 此旭川ノ宅地價ノ事ハ、大藏省ノ政府委員ハ十分御承知ノコトデアラウト思ヒマスガ、非常ニ不公平ニナッテ居ッテ、ソレガ爲ニ數回市長ヤ公職者ナドガ毎年陳情ニ出掛ケテ居ルノデアリマスカラ、私共ガ御話スルヨリモ能ク御存ジアルト思ヒマスガ、之ヲ段々調ベテ見マスト云フト、非常ニ不同ナコトニナッテ居ルノデアリマス、以前旭川ノ宅地ト云フモノ、平均地價ハ、一戸分カ十三圓八十六錢、坪當リ八錢五厘ニナッテ居ッテ、ソレガ四十二年ノ地價修正ノ時ニ、賃賃價格ノ十倍ヲ超ユルコトヲ得ズト云フアノ修正ノ時分ニ、一戸分九十九圓六十四錢デ、一坪當リガ六十一錢五厘トナッテ、一昨年ノ地價ハ一戸分五百七十六圓二十九錢、一坪當リガ三圓五十五錢八厘、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデ、斯ウナルト隣合ノ所デ一方ニ十二圓ノ所ガアッテ、サウシテ其隣ニハ千圓モ千五百圓モスルヤウナ所ガアル、非常ニ其間ニ段階ガアル、此平均歩合ヲ比較シテモ、五倍七倍ト云フヤウニナッテ居ルノデアリマシテ、一戸別ノ甚シイノニナルト、

隣トハ十一倍モ違フト云フヤウナ不權衡ノ所ガアル、是ナドハ免ニ角規則ヤ法律ノ上テ幾ラ解釋ヲシテモ、實際軒ヲ並ベテ居ル隣ガ一坪八錢五厘ノ地租ヲ拂ヒ、其隣デハ三圓以上ノ何ヲ拂フト云フコトニナルト、ドウシテモ治リガ付カヌ、ソレデ一昨年以來毎年引續キ宿題ニナッテ、地主會ヲ開イテ陳情委員ヲ出シテ、政府當局者ト押問答ヲヤッテモ解決ガ付カナイデ、訴願ナドガ出テ居リマスガ、大藏省ハソレヲ稍、緩和スル方法ニ努メテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、如何ニモ甚シイ、是ハ宅地ノ一例デアアルガ、宅地デモサウ云フ所ハ各所ニアル、ソレカラ畑地ナドヲ見マスト、以前古イ地租ヤ地價ナドノ頭ノ無イ時分ニ付ケタモノハ、窠棒ニ高イモノガアル、一段歩ガ畑地デ六十圓ト云フヤウナ、内地ノ水田地以上ノモノガ付イテ居ル、海産乾場ノ砂場デ四十圓五十圓ト云フ所ガアル、斯ウ云フモノハ免ニ角不公平ヨリモ何ヨリモ議論ニナラヌデスガ、斯ウ云フコトハ社會問題トシテドウシテモ研究シナケレバナラヌガ、今回豫算ヲ見ルト地價調査費ナドヲ要求シテ居リマス、定メシ是等ノ調査ヲヤラル、ノデアラウト思ヒマスガ、吾々ハ鄰地比準デアクハカリスル希望デハナイ、詰リ高イモノハ幾ラカ削ッテ、サウシテ低イモノハ上ゲテモ宜シイガ、幾ラカ平衡ヲ得ルヤウニシナケレバ、世ノ中ガ治ラヌト思フ、是等ニ付テハ大分御研究モアラウ、私共カラ申上ゲルヨリハ貴下下方ガ精シイノデアリマスガ、大藏省ハドウ云フ御考デアリマセウカ、先ツ旭川ノ點カラ大體ノ御考ガアリマスタラバ御考ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、サウシテ尙ホ北海道邊リノサウ云フ不權衡ニナッテ居ルモノヲ近ク修正スルヤウナ見込デモアリマスガ、ソレ等モ併セテ伺ッテ置キタイ

○政府委員(勝正憲君) 御答申シマスガ、此度大正七年度ノ豫算ニ於キマシテ、田畑ノ地價調査費ト云フモノヲ計上致シマシテ、田畑ノ地價ノ不權衡ニナッテ居ル點ヲ如何ニ修正スルカト云フコトニ付テ、十分慎重ナ而モ周密ヲ調査ヲシテ見タイト云フ考デアルノデ御坐イマス、從テ北海道ニ於キマシテ、田畑殊ニ海産乾場ノ如キモノニ於テハ漁業ノ關係上、元ハ或ハ適當デアッタカモ知レマセヌガ、漁業ノ關係ニ依テ、今ニ於テハ著シキ不當ナモノガアルト云フコトハ、政府モ之ヲ認メテ居リマスガ、之ヲ今北海道ハカリニ特別ニ地價修正ヲヤルト云フコトハ、經費ノ關係其他ニ於テ困難ナ事情ガアル、ソレ等ニ付テハ此度地價調査費ヲ計上致シマシテ、種々ナル調査ヲ致シマスガ、是ハ内地ハカリテナク、北海道ヲ含ンテ、全國ニ涉リ調査ヲシテ、之ガ完成シタル曉、政府ハ相當ノ考慮ヲ致シマシテ、適當ナ處置ヲ執ラナケレバナラヌト云フ方針デ御坐イマス

○東武君 旭川ノ事ヲ……

○政府委員(勝正憲君) 旭川ニ付キマシテハ、東君ヨリ縷々御述ベニナリマシタガ、唯今本問題ハ訴願ニナッテ居リマス、自然訴願ニ對スル省議ノ決定ヲ見マシタ上テナケレバ、直ニ今日ニ於テドウスル積リデアルト云フコトハ、聊カ御明答致シ兼ネマスガ、大體ニ於キマシテ、政府ノ處置ト致シマシテハ、或ルベク地租ノ賦課ヲ公平均一ナラシムルコトヲ希望致シテ居リマス

○東武君 訴願デ幾ラカ緩和ガ出來ルコト、思ヒマスガ、政府デモ餘リ法規ニバカリ拘泥シナイデ、社會的ニ常識判斷ヲシテ、適當ニ訴願ノ趣意ヲ容レラレント云フ併セテ希望シテ置クノデアリマスガ、尙ホ一ツ意見ヲ伺ヒ且ツ希望ヲ申述ベテ置キタイノハ、各地ノ稅務署間ノ査定ガ、皆ナ頭ガ違フカラ、大正三年ニ地價ノ設定ヲスルト、其時ノ稅務

署長カ非常ニ常識ノ發達シタ人デ、地方ノ民論ナドモ相當ニ斟酌シテ、適當ノ何ヲ付ケル、サウスルト一二年シテ稅務署長ガ更迭スルト、今度鏡棒ニ高イモノヲ付ケルト云フヤウナモノガアル、又同ジ年ニ於テ、各地方々々ノ稅務官吏ガ極メテ幼稚ノ頭デ、非常ニ卑劣ナ考ヲ持ツテ居ル爲ニ、皆寬嚴區々ニナツテ居ル、其紛擾ト云フモノハ實ニ蜂ノ巢ヲ突イタヤウナコトニナツテ居ル、是等モ大藏省當局者ハ十分御承知アラウト思ヒマス、實際今同種々ナル法令ナドヲ發布セラレテ、成ルベク統一ノ機關ヲ設ケラル、コトハ吾々感謝スル所デアリマスガ、斯ウ云フ風ナ所ヲ先ツ此方法ニ依テ矯正サレコトヲ特ニ願フテ置キマス、是ハ質問ト云フヨリハ寧ロ一個ノ希望デアレドモ、斯ウ云フヤウナコトハ到底政ハ出來ナイモノト思フテ居ル、稅務官吏ノ方針手加減一ツテ切盛ラサレテ居ルハ人民ガ枕ヲ高ウシテ寢ルコトガ出來ナイ、是ハ單リ地價設定バカリテハナイガ、是等ハ一ツ特別ニ御考ヲ願フテ置キタイト思フテ居リマス

○政府委員(勝正憲君) 御希望デアリマスカラ、伺フテ置ク丈テ宜シイヤウデスカ、尙ホ一言私ノ考丈ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、ソレハ北海道ノ從來ノ地租ノ扱方ニ付テハ、御承知ノ通り大部分ガ免租地デアリマシタ結果トシテ、殆ド新規ニ地價ヲ付ケル際ニ於キマシテハ、比準スベキ土地ガ無い、殆ド據所ガ無いト云フヤウナ實況ト、又實ハ地租事務ニ付テハ、事務上ニ於キマシテモ、極メテ重要ナ部分ヲ占メテ居ラナカッタ關係上、甚ダ不用意ナ地價ノ付ケ方ガアリマシタ、ソレニ依リマシテ、現在地價ヲ持ツテ居ル土地ニ付テ仔細ニ之ヲ點檢シテ見ルト、甚ダ高低區々ナル地價ガ付イテ居ル、ソレハ政府モ東君ト所見ヲ一ニシテ居リマス、ソレデアルカラ先年來餘リ區々地價ヲ付ケルコトハ宜シクナイカラ、北海道ハ北海道丈テ成ルベク統一ノ地價ヲ付ケテ往キタイト云フ希望ヲ以チマシテ、北海道ノ稅務監督局ニ於テモ相當ノ調査ヲ致シ、又大藏省カラモ相當ノ監督ヲ致シマシテ、所謂田畑ノ地價設定上ノ統一ヲ圖ツテデアレドモ、尙ホ稅務官吏ノ事務ニ慣レナイ結果デアルカ、或ハ其他ノ關係ニ依リマシテ、マダ十分ニ北海道ニ於ケル地主ヲ満足セシムル程度ニ至リマセウガ、尙ホ政府ニ於キマシテハ將來共一層地租ノ事務、地價設定上ニ於キマシテハ、統一シタル極メテ適宜ナル地價ヲ付ケテ往キタイト云フ考ヲ以チマシテ種々計畫シテ居リマス、其一例ト致シマシテ、彼ノ大藏省令ニ號ヲ以チマシテ、委員制度ヲ設ケテ、委員會ノ諮問ヲ經テ上ニ地價ヲ付ケテ往キタイラバ、一層土地ノ實況ニモ適シ、公平ナル地價ヲ付ケルコトガ出來ルデアラウ、斯ウヤウナ考ヲ以テ政府モ銳意其弊害ヲ矯正スルニ意ヲ積リテアリマス

○小池仁郎君 唯今東君ノ御質問ト政府委員ノ御答辯ヲ以テ、大變分ツテ參リマシタガ、無論北海道ノ監督局ニ於テハ、統一ノ方針ヲ以テ田畑地價ニ一貫等級表ト云フモノヲ定メマシタノ御坐イマセウ、併シ一貫等級表ヲ見マス、算定ノ仕方ニ於テ既ニ北海道ニ適合シナイヤウナ考ヲ持ツテ居ル、是ハ勿論本州ノ東北各縣ヲ參酌シテヤラレタモノト思ヒマスゲレドモ、ソレデモ尙ホ北海道ニハ稍々高キニ失スルデハナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマスカラ、政府ハ今度統一スル爲ニ、調査機關ヲ設ケラレタト云フコトデアリマスガ、其機關ハドウ云フ方法ヲ以テ統一ガ出來メウカ、其地方々々ノ實情ヲ參酌スルニハ、其機關ノ有ルコトハ誠ニ結構デアリマスガ、北海道ハ御承知ノ通り廣潤ナル面積デ、氣候風土ノ上ニ於テモ非常ニ差異ヲ有シテ居ル、又交通便利ノ上ニ付テモ、

非常ニ等差ノアル所デアルカラ、之ヲ統一シタイ、成ルベク不公平ノ無イヤウニ地價ノ設定ヲシヤウト云フコトハ、頗ル難儀ナコトデアリマセウガ、ソレニ付テ大藏省ニ於テハ據ルベキ標準ヲ御示シナラナイ、矢張稅務當局ガ自分ノ目テ見タ所ダケヲ以テ原案ヲ作リ、サウシテ地元ノ委員ノ意見ヲ諮問シテモ、動モスレバ、例ハ函館管内、札幌管内、根室管内、ト公平ヲ得ナイヤウナ事柄ガ無キニシモアラズデアリマス、之ニ付テハドウ云フ手段ヲ御執リニナルカ、又既ニ定メラレテ居ル田畑地價ノ一貫等級表ヲ更正スル御意見ガアルカ無イカ、ソレカラ調査機關ガ出來タラ、其機關ヲ以テ統一スルト云フ方法ハドウ云フ仕方ヲ爲サルノデアルカ、ソレカラ先程東君カラ御尋ニナツタ旭川區ノ宅地ノ地價設定問題、是ハ唯今御說明ニ依テ略ボテ了解シマシタガ、併シ是ガ今後ノ地價設定ノ上ニ非常ニ關係ヲ及ボシハシナイカト思ヒマスガ、大藏省ノ訴願ニ對スル御決定ハ、凡ソ何時迄ニ御決定ニナルノデアリマセウカ、之ヲ參考ニ承リタイ、ソレカラ一貫等級表ニ依レバ、田ノ一等ガ二十九圓ニナツテ居ル、然ルニ渡島國ニ於テハ二十九圓五十五錢ト云フヤウナ所モアル、是ハ今後調査ヲ遂ゲテ、不當ナ分ハ直スト云フ御方針デアラカラ、是ハ暫ク忍バナケレバナリマスマイガ、サウ云フ實例ガ多クアリマスカラ、此點ニ付テ政府當局ハ據ルベキ方針ヲ立テ、サウシテ租稅署ノ當該官吏ガ政府當局ノ精神ヲ誤ラヌヤウニシタイト思フノデアリマス、ソレニ付テ若シ政府當局ニ於テ據ルベキ標準ガ既ニ決マツアルナラバ、此際此漏ラシシテ願イタイト思フ、若シソレガ出來テ居リマセウケレバ、其方法ヲ稅務當局ニ十分訓達セラレシコトヲ希望シマス

○政府委員(勝正憲君) 御答致シマス先ツ一貫等級表ノコトカラ申上ゲマスガ、此問題ニ付テハ前回主稅局長カラ一通リ申上ゲタヤウニ記憶シテ居リマスガ、元々此一貫等級表ト申シマスモノハ、例ハ未ダ一段歩ニ付テ二石四斗取レル所ハ二十九圓ト云フヤウナ地價デ宜イ、ソレカラ今度ハ五斗下リマシテ、二石三斗五升ノモノハ二十八圓五十錢、斯ウ云フ風ニ各地ニ於ケル土地ノ收穫量ヲ見テ、或土地ニ對シテハ幾ラノ地價ヲ設ケベキモノデアルト云フコトヲ決メタノガ一貫等級表デアリマシテ、ソレ最モ高イノハ此表トシテハ二石五斗迄ニナツテ居リマスガ、或ハソレ以下ノ二石四斗五升モアリマセウ、或ハ二石四斗ノ所モ將來出來ルデアリマセウ、ソレテ此一貫等級表ヲ作ツタ主ナル目的ハ或地方ニ於テハ一等地ハ二等地トノ間ニ五斗開キニ組ンテ居ル、或地方ニ於テハ一等地ハ二等地トノ間ニ一斗開キニ組ンテ居ル、詰リ等級ガ餘リニ疎ラニ組ム所モ、餘リニ細密ニ組ム所モアルト云フ弊ヲ避ケル爲ニ、上ノ方ハ五斗開キニ極メ、中頃ハ二斗開キニナリ、終リノ方ハ五斗開キニナル、是ハ假リニ申ス例デアリマスガ、斯ウ云フ風ニ等級ヲ組ンテ行クベキモノデアルト云フコトヲ示シタノガ一貫等級表デアリマス、之ヲ實地ニ適用スル上ニ於テハ、例ハ根室ノ管内ノ田ノ一等ハ二石四斗ナドハ二斗取レナイ、九斗シカ取レナイ、サウスレバ一等デモ九斗ニナル、今度ハ二等ガ八斗五升、二等ガ八斗、斯ウ云フ風ニナル、例ハ檜山管内デアリマシマシラ——是ハ實況ヲ存シマセウカラ間違フカ知レマセウガ、モウ少シ良イトシマシマシラ、一等ハ先ツ一石三斗デ宜イ、サウスレバ二等ハ一石二斗五升ニナル、斯ウ云フ風ニ適用シテ參リマスノテ、此一貫等級表ハ善イトカ惡イトカ云フ議論ハ、其等級ノ差ノ設ケ方ガ餘リ疎大デアル、餘リ細密ニ失スルト云フ御議論ガ主ニ起ルベキデアッテ、此一貫等級表ハ寬デアルトカ、

酷アアルトカ云フ御議論ハ起ラヌモノデアラウカト考ヘマス、ソレテ今日ニ於テハ、此一貫等級表ト云フノハ、申上アルヤウニ尺度デアリマスカラ、此尺度ヲ以テ此處カラ宛行フノデアアル、中頃ヲ以テ宛行フノデアアルト云フノガ問題デアリマシテ、此尺度夫レ自身ハ、政府ニ於テハ是ガ寸ガ狂ニテ居ルモノダトハ思フテ居リマセヌ、ソレテ差向キ此一貫等級表ナルモノハ、更正スル必要ハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ調査機關ガ各地ニ出來テ、愈々地價ノ設定ニ對シテ諮問スルコトニナルカ、之ニ對スル統一的方法ハドウ云フ考デアアルカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ調査會ノ上ニ更ニ上級ノ諮問機關ノヤウナモノヲ置イタラ宜クハナイカト云フヤウナ考モ吾々ハ一應ハ持ツタノデアリマスケレドモ、各稅務署管内ニ於ケル地價ノ認定上ノ權衡ヲ得セシムルニハ、稅務署ハ監督機關トシテ監督局ガ置イデアリマスケレド、其上ニ大藏省ト云フ監督機關モアリマスケラ、此各稅務署間ニ於ケル權衡ヲ得セシメテ、之ガ不統一ニナラナイヤウニスルニハ、監督局ヲシテ十分其任ニ當ラシムルヤウニ致シタイト云フ考デアリマス、ソレカラ尙ホ將來地價ノ設定上ニ對スル方針ニ付テハ、是亦前回ニ於テ主稅局長カラ一應答辯致シテ置キマシタヤウニ記憶シテ居リマスガ、今此處ニ箇條書ノヤウナ書イタ物ヲ作ッテデアリマセヌケレドモ、將來ニ於テハ大藏省ノ方針ノ在所ヲ能ク徹底セシムル方法ヲ執ッテ行キタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、此點丈御答致シテ置キマス

○小池仁郎君 モウ一ツ伺ヒマスガ、議論ニナルカモ知ランガ 北海道ノ田畑地價ノ一貫等級表ヲ改メル意思ガ無イト云フ政府ノ御意見デアリマスガ、此尺度デアリマス、是ハ實際ニ當ラナイ尺度デアルト、自然ニ不公平ナモノガ出來ヤウト思ヒマスガ、是ハ具體的ニ御尋ネシテ見タイト思ヒマスガ、即チ北海道ノ一等地ガ二十九圓ト云フコトニナツテ居リマス、サウスルト一等ニ當ラマル所ハドウ邊ヲ指シテ一等ノ地ト見テ居ルカ、カ、此全國ニ就テ勸業銀行ノ調べタモノニ依レバ、法定地價ノ平均ト其各府縣ノ賣買價格ヲ比較シテ見ルト、ドレ程ノ物ガ出來テ居ルカト云フコトガ分ルデアリマスガ、之ニ依テ見テモ北海道ノ實際ノ賣買ノ價格ト、ソレカラ一貫等級表ニ顯ハレテ居ルモノトヲ比較シテ見ルト、北海道ハ一貫等級表ガ割合ニ高イデアリマスガ、是ハ定メラレタ根柢ニ於テ算出ノ方法ガ違ッテ居ルノデアナイカト考ヘテ居リマス、若シ北海道ノ一尤モ私ハマダ調査ガ不十分デアアルカモ知レマセヌガ、此頃設定ニナル田地一段步二十九圓ト云フヤウナコトハ聞キマセヌ、凡ソ十七八圓若クハ上川地方北海道中良イ水田トシテモ二十圓ツコトデアリマスケラ、此一等ト云フモノハ實際ニ於テ無イト思ッテ居ルノデア、サウスルト當嵌メルコトノ出來ナイ尺度ニナラウト考ヘルノデアリマスガ、ソレ故ニ政府ハ之ヲ改メル考ハ有ルカ無イカト云フコトヲ御尋シタ次第デアリマス、實際政府ガ一等ト認メテ居ル所ガアツテ、ドコカラ見テモ一等ノ二十九圓ガ至當デアルト云フコトデアレバ、何モ言フ事ハ無イトデアリマスガ、此尺度ガ當嵌ラナイモノトスレバ、サウスルト高イ尺度ヲ持ッテ行ッテ當嵌メルト云フコトニナツテ、自然ニ不當ナ事ニナリハセヌカト思ヒマス、稅務當局ハ常識ニ當ラシテ居ルテ、北海道ニ此尺度ノ一等地ニナル土地ガ無ケレバ致方ガナイト云フ考デアレバ宜イケレドモ、尺度ガ一等デアルカラ、此田ヲ一等ニシナケレバナルマイト云フ所カラ、此一等ノ尺度ヲ當嵌メルト云フコトニナルト、大變ナ不公平ガ生シテ來ハセヌカト思ヒマス、今政府委員ノ御話ノ通り、此邊八十等トカ、八九等アツテ頭ラニシテ、十五

等位ニ順序ヲ定メタラ至當タラウト云フヤウナ常識ノ上カラ判斷スレバ宜イケレドモ、尺度ガ一等デアルカラト云フテ、之デアラル、コトニナルト、不公平ナコトニナルト思ヒマス、北海道ハ一貫等級表ニ依ル一等田ハ無イノデア、若シ上川地方ヲ一二等ニセネバナラヌト云フコトニナルト、勢ヒ高地價ガ出來テ、重キ負擔ヲセバナラヌト云フ結果ニナリハセヌカト云フ意味カラ、一貫等級表ト云フモノハ、内地ノ各府縣ト比較シテ少シ過ギテ居ルト云フ考デア、此尺度ヲ改メテ欲シイト思フノデアリマスガ、政府ニ於テ其意思ノ有ルカ無イカヲ御尋シタデアリマス、敢テ議論ヲスルノデアアリマセヌ

○政府委員(勝正憲君) 唯今ノ御意見ハ、能ク了解致シマシタ、北海道ニ於キマシテ二十九圓ト云フヤウナ地價ヲ設定シテ居ル所ハ近頃アリマセヌケレドモ、函館ノ管内ニ二十九圓以上ノ價値ヲ持ッテ居ル田モアリマスケラ、サウシマスケラ、其地方ニ地目變換年期明ト云フ事ガ起ツタ際ニ、偶ニハ適用スルコトガアリマスケラ、尺度トシテハ高イモノヲ作ッテ置ク必要ガアルノデア、實際ニ於テハ其實際ノ收穫ト云フ物ヲ押ヘテ尺度ヲ宛行ッテ行クカラ——宛行フニ不當ナ高イモノヲ宛行ハヌコトニ致シマスケラ、其邊ノ事ヲ御了承ヲ願ヒマス

○小池仁郎君 政府委員ノ御答辯ニ依ルト、益々尺度ヲ改メテ行カナケレバナラヌコトニナルデアリマス、私ハ政府ハ地價ノ調査ヲシテ、不當ノ分ハ直スト云フコトデアリマスケラ、暫ク忍ブト云フコトヲ先刻申シマシタガ、渡島ノ龜田郡ニ二十九圓五十五錢ト云フノガ現ニアリマスガ、一貫等級表ノ上ニ出テ居ル一等ヨリ高イデアルケレドモ、實地ヲ見ルト一貫等級表ヨリ以下ニ下ラネバナラヌノデア、斯ウ云フモノガアルトスレバ、尺度ヲ改メテ行カナケレバナラヌト思ヒマス

○政府委員(勝正憲君) モウ一遍申上ゲマス、私ノ申上ゲタノガ少シ不十分デアッタカモ知レマセヌガ、二十九圓五十九錢ト云フノハ龜田丈デ、而カモ其收穫ハ二石八斗モアルト云フ場合デナケレバ、此尺度ヲ改メルトガ出來ヌノデアリマス、唯ダ不當ナ地價ノアルノヲ利用シテ、之ニ依テ高地價ヲ作ルト云フ考ハ勿論ナイノデアリマス

○委員長(寺田省歸君) ソレハ本日ハ是デ散會致シマス、次回ハ追テ御通知致シマス、一兩日延バシテ、十分研究シテヤルコトニ致シタイト思ヒマス、是デ散會致シマス

午前十一時五十七分散會